

○人権センター事業実績

資料1

I 概要

◆館の概要

館の名称：益田市人権センター「あすなろ館」 （※人権センター設置及び管理に関する条例、人権センター管理運営規則、管理規程）
 館の構造：鉄骨造平屋建、瓦葺
 敷地面積：4,527.07㎡
 建物面積：850.13㎡
 施設：多目的ホール、研修室、娯楽教養室(和室)、生活改善室(給湯設備)、相談室兼図書室
 ロビー(啓発物展示場)、事務室
 職員体制：館長1名、館長補佐1名、主任主事1名、人権・同和教育推進員1名(会)、生活指導相談員2名(会)、消費生活相談員1名(会)

II 実施事業

1 人権・同和対策(同和教育)の推進

<人権センター主催の相談>

実績	備考
①巡回相談 32件 対象：同和地区住民 内容：毎月1回、相談員が定期的に訪問	・生活総合相談受理件数(5P)
②生活総合相談 86件 市民の人権に関すること(同和問題、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人など)、生活の困りごとや悩みごとなどの生活全般に関わる相談を受けた。ケースにより専門機関や適切な関係機関を紹介	

<他機関との連携による相談事業の実施>

実績	備考
①石見法律相談センター無料法律相談 133件 実施：石見法律相談センター 開催：毎月第3、4金曜日	
②司法書士・行政書士無料法律相談 46件 実施：島根県行政書士会 開催：毎月第3木曜日	
③心配ごと相談 8件 実施：行政相談委員、人権擁護委員 開催：毎月15日	
④行政相談 3件 実施：行政相談委員 開催：毎月第1木曜日	
⑤在住外国人相談 0件 実施：島根県行政書士会 開催：相談者の必要に応じて開催	

<相談体制の充実>

実績	備考
①行政機関等相談担当者ネットワーク会議 管内14機関の相談機関担当者によるネットワーク会議を開催。(5回 延べ99人)	・令和6年度 人権・同和问题研修会実績(7P)

<同和問題対策事業>

実績	備考
①子ども会事業(41回 延べ184人) 人権学習や児童・生徒の学力向上、進路保障などを目的とした子ども会事業を「益田子ども会」へ委託し実施。「益田子ども会」では、児童生徒支援加配推進者と連携を図り、学習支援や体験活動などを実施（毎週木曜日 18:00～20:00） ②上黒谷集会所事業（1回 14人） 対象：地区住民及び周辺住民 内容：地区住民の社会的・文化的生活の向上を図るとともに地域住民も含んだ住民交流の場として開催。人権教室を実施 （※益田市立集会所設置及び管理に関する条例、管理運営規則 132㎡ S56.2.1管理開始）	・令和6年度上黒谷集会所講座開催実績(6P)

<在住外国人等支援事業>

実績	備考
①日本語教室（40回 延べ629人） 対象：在住外国人、日本語習得希望者 内容：益田日本語ボランティアグループ「ともがき」による日本語の日常的な会話や初歩的な読み書きのための教室を開催 開催：毎週日曜日 ②島根県外国人地域サポーターの配置 1団体	

<啓発事業>

実績	備考
①「人権・同和教育(問題)講演会」の開催 一般市民、行政職員、学校教職員を対象とした研修会等を実施。 ②「人権センターだより」の発行 目的：情報提供や意識啓発、人権活動団体の支援 発行：年間2回 ③啓発講座の実施 人権センターふれあい講座「出会い・ふれあい・語り合い」事業(6回 延べ140人) 目的：市内及び近隣市町の活動実践者による身近な人権課題の発見と共有 内容：活動内容の報告や講演及び参加者との意見交換 講師：市内の外部講師 対象：市民 ④地区人権・同和教育推進協議会(略「地区同推協」)委託事業 i「地区同推協」委託 人権・同和問題の解決を目的とした事業を地区同推協に委託 ii「地区同推協」研修（3回 延べ131人） 「地区同推協」委員を対象とした全員研修を益田・美都・匹見にて実施し、人権・同和問題への取組などについて基本的な事項を学ぶ機会を提供 ⑤人権啓発活動地方委託事業の実施 人権啓発活動地方委託要綱に基づき、島根県の人権啓発活動委託事業を受託し、啓発を目的とした事業を実施 i 一般事業 「人権・同和問題(教育)講演会」の実施(1回) 人権啓発用DVD（1本） ii 人権の花運動（延べ453人） 市内の希望小学校に対し、花の苗等を配布し「人権の花」として人権学習の機会を提供 実施校：全15校 ⑥啓発資料の活用 i 資料の設置 人権センターなどに啓発資料を設置し、市民へ提供 ii ロビーにおけるパネル展示 人権センターのロビーでパネル展示を実施し、来館者に啓発活動を行った。また、希望団体が人権啓発パネル等の展示ができるようスペースの貸出を実施 iii 図書・ビデオ等の貸出（124件） 様々な人権課題に関する図書や啓発ビデオ等の貸出を行い、益田市学校同和教育研究会所蔵の書籍や教材等の貸出管理も併せて行った。所蔵図書等については公式ウェブサイトに掲載し周知	・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P) ・令和6年度人権センターだより(10P) ・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P) ・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P) ・令和6年度 館内パネル展示実績(13P)

<地域交流事業>

実績	備考
①すこやか すこカフェ(9回 延べ51人) 地域の方を対象に近年社会問題となっている住民相互のつながりの希薄化や孤立、孤独などの解消に向けて、益田市社会福祉協議会と協働しながら、地域の中で安心して過ごせる居場所づくりを目的とした事業を実施。 開催:毎月第2火曜日 内容:紙芝居・絵本読み聞かせ・DVD映写会・手指の運動・モルック・益田版 益ます元気体操・フォークダンス・折り紙など	

<団体支援>

実績	備考
①施設利用の促進 (延べ7,950人) 人権啓発活動を目的とする非営利団体等を中心に施設の貸出を行い、管理規程に定める対象団体に対しては利用料の免除などの優遇を図り側面的な支援を実施 ②石西地域人権を考える企業等連絡協議会(略:人企連) 人企連の顧問として、人企連主催の活動に対し企画運営への協力、他団体主催の研修の情報提供を行った	

<他機関との連携>

実績	備考
人権・同和問題の解決をめざして、協議会等の他機関、他団体との連携を図った ①島根県隣保館連絡協議会(略「島隣協」) i 総会・理事会出席 ii 研修会への参加 ②島根県同和教育推進協議会連合会(略「同推連」) i 総会・役員会 ii 研究集会への参加 ③石西地域人権を考える企業等連絡協議会 i 講演会の開催(2回) ii 街頭アピール活動(28名 19企業等) 内容:啓発グッズ等の配付 場所:市内スーパー 3カ所 ④石西地区人権・同和教育研究協議会(略「石西人同研」) 研究集会の開催	・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P)

2 男女共同参画の推進

実績	備考
①第4次男女共同参画計画の推進 ②意識啓発事業の実施 i パネル展示 (1)内容:「DV防止」をテーマにしたパネル (2)内容:「みんなで目指すSDGs×ジェンダー平等」をテーマにしたポスター (3)内容:「女性に対する暴力をなくす運動期間に暴力防止」をテーマにしたパネル ii 男女共同参画通信「なあ〜んと素敵なパートナーシップ」発行(1回) ③男女共同参画推進事業研修会(3回) ④デートDV防止に関するチラシを作成し各中学校に配布	・なあ〜んと素敵なパートナーシップ(14P) ・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P)

3 消費者行政の推進

実績	備考
①消費者相談 124件 消費者からの苦情や相談に応じるとともに消費者センター石見地区相談室等と連携し、解決に向けた支援を実施 ②消費生活相談員等の養成 ③啓発活動や研修会の開催 消費者被害防止のため、益田市消費者問題研究協議会と連携し、啓発活動やセミナーを開催し、消費者の資質向上と意識啓発を図った。 i 消費者被害防止ための街頭啓発活動 内容:啓発グッズ等の配付 場所:市内スーパー 1カ所 ii 益田市消費者セミナーの開催(1回 41人) 内容:消費者被害の現状及び対処の仕方について 対象:市民、消問研関係者等	・消費生活相談受理件数(15P) ・令和6年度 人権・同和問題研修会実績(7P)

生活総合相談受理件数

(1) 相談内容

(単位：件)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福祉・健康相談	5	16	20
産業・職業相談	4	1	3
教育相談	0	1	0
人権相談	2	1	10
法律相談	9	14	7
生活相談	44	36	40
その他の分野に関する相談	2	6	6
合 計	66	75	86

(2) 相談者

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高齢者	11	31	17
障がい者	1	13	13
外国人	0	0	1
その他	54	31	55
合 計	66	75	86

令和6年度 上黒谷集会所講座開催実績

	開催日時	内容・テーマ	講師	参加人数	備考
1	7月19日(金) 18:00~20:00	人権・同和問題研修会 「つながる～沖縄の近現代史～」	福原 孝浩さん (市民活動養成塾 代表)	14人	

令和6年度人権・同和問題研修会実績表

	開催日時	内容・テーマ	講師	対象	参加人数	備考
1	5月27日(月) 10:00~11:30 人権センター	行政機関等相談担当者ネットワーク会議 「各相談機関担当者の自己紹介と相談業務の説明 並びに取組について」		行政職員	市職員 10 その他職員 19	行政機関等相談 担当者ネットワ ーク会議
2	6月25日(火) 14:10~15:40 人権センター	いろいろな人が働き続けられる職場をめざして ～合理的配慮の義務化を足がかりにして～	玉木幸則さん (（福）西宮市社会福祉協議会 権利擁護普及推進及び相談支援 アドバイザー)	企業関係者 行政職員	市職員 40 その他職員 23 人企連 42	石西地域人権を 考える企業等 連絡協議会
3	8月7日(水) 9:30~11:40 人権センター	「人権を守るために行動をおこそう」 ～益田市の同和問題解決に向けたあゆみ～	椿孝二さん (元部落解放同盟島根県連合会 石西支部長)	新採・転入教 職員 新規職員	134 市職員 22 教職員 103 問題解決推進委 員会委員 9	
4	8月9日(金) 13:30~16:30 人権センター	「夢ひきよせる！人権・同和教育2024」 第24回石西地区人権・同和教育研究集会 ～あらゆる差別の解消に向けて～ 実践報告 ①演題「誰もが安心して暮らせる地域づくり～ 子ども食堂の取組から～」 ②演題 「一歩を踏み出せる子供を育てるために」	①永本鶴枝さん (高津子ども食堂) ②立石智美さん (島根県高等学校・特別支援学校 人権教育研究協議会石西地区 島根県立益田翔陽高等学校教諭)	教職員 行政職員	市職員 37 その他職員 17 教職員 176 人企連 20	石西地区人権・ 同和教育研究協 議会
5	8月20日(火) 10:15~12:00 人権センター	「夢ひきよせる！人権・同和教育2024」 世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい	森達也さん (映画監督・作家)	教職員 行政職員 一般市民 地区同推協	市職員 35 その他職員 11 教職員 196 地区同推協 23 人企連 9	島根県人権教育 研究協議会
6	8月29日(木) 14:30~16:00 人権センター	企業(事業所)トップクラス人権・同和問題研修会 「職場における人権 ～無意識のうちに誰かを傷つけていませんか～」	尾村幸行さん (島根県西部人権 啓発推進センター講師)	企業関係者 行政職員	市職員 27 その他職員 12 人企連 22 その他企業 23	石西地域人権を 考える企業等 連絡協議会

7	10月11日 (金) 10:10~11:50 保健センター	人権教育地域活性化に向けた研修会 「一人親家庭の人権」	毎熊浩一さん (NPO 法人しまね子ども プロジェクト 理事長) 樋口和弘さん (NPO 法人しまね子ども プロジェクト 副理事長)	行政職員 地区同推協 企業関係者	市職員 25 その他職員 7 地区同推協 5 人企連 6	島根県
8	10月16日 (水) 14:00~16:00 人権センター	行政機関等相談担当者ネットワーク会議 「相談対応の留意点(演習を通して)」	加納美代子さん (一社)日本産業カウンセラー 協会 公認心理師)	行政職員	市職員 6 その他職員 20	行政機関等相談 担当者ネットワ ーク会議
9	10月23日 (水) 13:30~15:00 人権センター	「人権を守るために行動をおこそう」 ～益田市の同和問題解決に向けたあゆみ～	椿孝二さん (元部落解放同盟島根県連合会 石西支部長)	管理職	市職員 19	
10	10月28日 (月) 13:30~15:30 匹見タウンホール	益田市人権・同和教育推進協議会委員・事務局員 講座 アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に ついて	尾村幸行さん (島根県 西部人権啓発推進センター講師)	地区同推協	同推協 25	
11	11月5日(火) 13:30~15:00 人権センター	「人権を守るために行動をおこそう」 ～益田市の同和問題解決に向けたあゆみ～	椿孝二さん (元部落解放同盟島根県連合会 石西支部長)	管理職	市職員 30	
12	11月10日 (日) 13:30~15:15 グラントワ	拉致問題を考える国民の集い in 島根 「北朝鮮よ、姉横田めぐみを帰せ！」	横田拓也さん (拉致被害者横田めぐみさんの弟)	行政職員	市職員 38 一般 134	国(政府拉致問 題対策本部) 島根県
13	11月12日 (火) 13:30~15:00 保健センター	益田市ヤングケアラーに関する研修会 「ご家族のケアを担う子どもたちへの支援につ いて」	宮本恭子さん (島根大学教授)	教職員 行政職員	市職員 49 その他職員 12 教職員 50 一般 43	

14	11月27日 (水) 14:00~16:00 人権センター	「引きこもり支援の動きと島根県内の状況」 「いっぽの紹介と益田圏域の状況」 (兼：行政機関等相談担当者ネットワーク会議)	小原圭司さん (社会医療法人正光会 松ヶ丘病院 医師) 吉田幸枝さん (社会医療法人正光会 松ヶ丘病院 精神保健福祉士)	行政職員 教職員	市職員 9 その他職員 13 教職員 32	行政機関等相談 担当者ネットワ ーク会議
15	11月28日 (木) 13:00~15:30 東仙道公民館	益田市人権・同和教育推進協議会 委員・事務局員講座 災害と人権～避難所における人権問題～	岡田香織さん (益田市人権・同和教育推進員)	地区同推協	同推協 37	
16	12月21日 (土) 13:30~15:00 人権センター	「夢ひきよせる！人権・同和教育 2024」 今ここにある部落差別～差別を許さない生き方 を選ぶことができるように～ (兼：益田市人権・同和教育推進協議会 委員・事務局員講座)	吉岡綾さん (部落解放同盟福岡市協議会 青年部)	教職員 行政職員 地区同推協	市職員 26 その他職員 1 教職員 19 地区同推協 69 一般 10	
17	1月27日(月) 13:30~15:30 人権センター	しまね国際センター出前研修 「やさしい日本語について」 (兼：行政機関等相談担当者ネットワーク会議)	仙田武司さん (〔公財〕しまね国際センター 事務局次長)	一般市民 行政職員 行政機関 企業	市職員 10 その他職員 19 一般 12	行政機関等相談 担当者ネットワ ーク会議
18	2月3日(月) 14:00~16:00 人権センター	消費者セミナー 「消費者被害の現状及び対処の仕方について」 (兼：行政機関等相談担当者ネットワーク会議)	山本尚さん (弁護士法人 益田リーガルクリニ ック益田事務所 弁護士)	一般市民 行政職員 行政機関 消問研	市職員 20 その他職員 9 消問研 9 一般 3	益田市消費者問 題研究協議会 行政機関等相談 担当者ネットワ ーク会議
			合計 1,643 人	【内訳】	市職員 403 その他職員 163 人企連 99 その他企業 23 教職員 576 同推協 159 問題解決 9 消問研 9 一般市民 202	

令和6年度 人権センターだより あすなる館

〒698-0036
益田市角子町3-1
TEL 31-0412
FAX 31-0414

さまざまな差別問題の解消に向けて、令和6年8月9日(金)に当館を参集会場に「第24回石西地区人権・同和教育研究会」を開催し、「社会教育」と「学校教育」からの実践報告があり、326人(会場参加120・オンライン参加206)の方が参加されました。

社会教育からは「誰もが安心して暮らせる地域づくり～子ども食堂の取組から～」と題して、高津こども食堂の報告、学校教育からは「一歩を踏み出せる子どもを育てるために」と題して、島根県高等学校・特別支援学校人権教育研究協議会石西地区より県立益田翔陽高等学校の実践報告がありました。

参加者から寄せられた、研修内容についての感想等は、以下の通りです。(一部抜粋)

●一人一人が差別の当事者であり、自分自身を見つめ直す必要性を強く感じた。差別解消に向けて熱い気持ちがある人に出会うことで、差別をしない・許さないという素地を育むことができると思った。●自分の心無い言葉で相手を傷つけないように、様々な考え方や環境にある他の者の立場に立つて考えるようにしたい。●貧困の子にしても高校生にしても、対象の子どもに寄り添う人は必要だと思う。高校生のSNSトラブルでは学校任せにする親の存在に驚いた。学校の見放さない対応が生徒にとつては救いになると感じた。●当たり前にしてきたことや当然と思っていたことがたくさんある。今回の報告を聞き今一度、考え直さなければならぬと思った。●一人一人が自分自身のこととして考えられることが始まりであり、とても大切なことであると感じた。思いのこもった丁寧な取組の発表でいつも学びになった。●現代の子どもの中には「人と関わらなければいけない」という考えが多いとの内容に驚き等々、どうすれば心に響くのかを考へアプローチしていくことが必要であるかを改めて学ぶことができた。これからの仕事に活かしたい。

子どもを取り巻く課題に向き合い、それぞれの立場で実践している2つの報告を聞いた後、子どもに対する日々の向き合い方や、どう取り組んでいるかについて意見交流をしました。

誰もが安心して生活できる社会の実現に向けて、大人がどう変容し、次の行動にどう繋がっていくかが、求められているのではないだろうか。



★「すこやかひすこカフェ」開催中★

地域住民の孤立・孤独等々の解消に向けて安心して過ごせる居場所づくりを目的として、7月9日に益田市社会福祉協議会のご協力をいただき第1回目を開催しました。

麦茶コーナー、紙芝居や絵本読み聞かせ、DVD視聴、軽運動ほか盛り沢山の内容で10時から12時の間に周辺住民18名が参加されました。来年3月まで毎月1回開催します。

7月9日(火)	8月13日(火)	9月10日(火)
10月8日(火)	11月12日(火)	12月17日(火)
1月14日(火)	2月18日(火)	3月11日(火)

参加申込は不要です。みなさまの参加をお待ちしております。

*当館では、生活相談等を随時受付ております。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。また、弁護士や行政書士等による無料相談会(要予約)も開催しています。詳細は問い合わせください。

新着 DVD 入荷…貸出しま〜す

タイトル	テーマ：内容	時間
今 企業に求められる 「ビジネスと人権」への対応	企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など関わる全ての人の人権を尊重することが求められています。企業が人権に関する取組を進めるにあたり参考となる情報等々を紹介します。	36分
島根県パートナーシップ 宣誓制度 島根のちよっこしLGBTQ	LGBTQとは何か。現社会におけるLGBTQの課題。多数派が正しいとは言えない多様性の社会。互いが幸せに生きていくことを認め合う必要性他、島根県パートナーシップ宣誓制度の説明。	5分
性の多様性とLGBTQ+	「性のあり方」はとても多様で全ての人々にかかわりがあるものです。基礎知識を分かり易く解説しながら、インタビュを通して性的マイリチィを取り巻く実情を知り、理解を深め多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えましょう。	28分

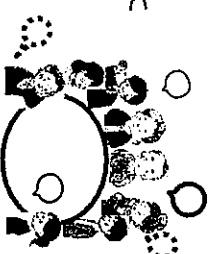
*人権センターでは、各種人権課題に応じた啓発用 DVD や書籍を無料で貸出しております。各地域において小グループの会合や、各種サロン等開催時の人権研修にご活用ください。タイトルや内容につきましては、お問い合わせください。

人権センター 31-0412

人権に配慮した住みよいまちづくりのために みんなで守ろう自治会・町内会 Q&A

Q：自治会や町内会(組や班)ってなに？

A：一定区域に居住する人々が、住民相互の親睦交流を図り、それぞれの地域において様々な課題を解決することを目的として、自主的に組織された住民組織です。



Q：加入は強制なの？

A：強制ではありません。あくまでも任意加入ですが、昨今の風水害や震災等の避難時には、居住者の把握ができていて協力し合うことができません。また、居住地の防犯灯やゴミステーションの維持管理など、生活に密着することも住民の皆さんの合意により活動が行われていることから、町内における「共助」は日常生活を営む上で大切なことです。

Q：突然役員に選出されたのですが、拒否することはできるの？

A：どの地域も少子高齢化による人口減少に伴い、役員選出には苦慮しているところが多いようですが、男女共同参画の視点も取り入れながら、個人個人の生活の実情に配慮した選出方法を考えましょう。例えば、「選挙」「輪番制」「推薦」「抽選」等々ありますが、強制的な選出では地域コミュニティの崩壊や人権侵害問題に発展する場合もあるので、加入者の人権に十分考慮しつつ過去の踏襲に捉われず町内でしっかり話し合って決定しましょう。

Q：自治会や町内会でのトラブルについて、市行政は何かしてくれるの？

A：市行政が直接立ち入って指導することは、自主性や自立性を阻害することになるため、原則いたしません。

お困りごとがありましたら何でもご相談ください。

自治会に関すること 連携のまちづくり推進課 31-0600
人権に関すること 人権センター 31-0412

令和6年度 人権センターだより 第2号

〒698-0036 須子町3-1
TEL 31-0412
FAX 31-0414

さまざまな差別課題の解消を目的として、令和6年12月21日(土)に人権センターを会場に「今ここにある部落差別～差別を許さない生き方を選ぶことができるように～」と題し、吉岡綾さんによる講演会を開催いたしました。

学生の頃に「部落差別のことを知らなければ、学ばなければ差別は無くなると思っていた。」ことや、「社会人になっても、その場の雰囲気と同調し他者を排除してしまう自分がいることに気付いた」と講師自身に差別性があったことを明らかにし、それが間違っていたことや、部落があるから差別されるのではなく、差別する人がいるから部落差別は無くならないと赤裸々に語られました。これまでに受けた4つの差別体験「17歳・タクシー乗車拒否」「18歳・職場での部落差別」「19歳・元婚約者からの差別」「21歳・結婚に際しての被差別体験」の中から、参加者の希望により、18歳の時に職場で受けた差別体験を語られ、被差別側でつらい思いをしながらも差別する側の背景や心情にも想いを馳せるなど、講師の温かい人間性を感じることができ、更に、パートナーとの出会いや義父の素敵な人柄など、ほのぼのとしたお話もたくさん聞く事ができました。

参加者に向けて、人としてどう生きるべきか、自らを問い直し差別を許さない生き方を選ぶことができるように、誰もが生まれてきて良かったと思える社会をつくるために、どう行動するのかを投げかけていた貴重な時間となりました。

この講演会には学校教職員、各地区人権・同和教育推進員、市職員等々124人が参加され、下記のとおり多くの方から感想が寄せられました。(一部抜粋)



●人権について学ぶ意味。どう生きていくのかを自分と向き合って考える時間となった。同情ではない人権教育を考えていきたい。●今まで聞いた研修の中で、一番分かり易く、自分の反省点やこれからの事を考える時間となった。とても良い研修ができたことに感謝。●人生で最も心打たれる内容で、学ぶこと・知ることが大事だということが良く分かった。●差別を無くすために自分の体験を話される講師に感謝を受けた。●改めて、部落問題の知識を学ぶことが必要だと感じた。●「自分のために人権問題を学ぶ」の言葉にハッとさせられた。●未だに差別があることが、よく理解できた。●繰り返し返る人権について学ぶ必要があると感じた。一度聞いて分かった気になってはいけない。良い機会になった。●部落差別に関わらず、ネット上で色々な情報飛び交っている。それをそのまま鵜呑みにしている自分。こんな風に差別が始まるんだろっかなと思っ。これからは自分でしっかり学んでいきたい。●「差別は何の得にもならない。」の言葉が心に響いた。●研修機会が多いし知らないことが多すぎると感じた。

※当館では年間を通して様々な人権啓発講演会・講座(市民参加型)を計画し、「広報ますだ」・「市公式ウェブサイト」にてご案内しています。また、各種人権課題に応じた啓発用DVDを貸し出しております。企業内や地域にてグループの会合や、各種サロン等開催時の人権研修にご活用ください。

なお、生活相談等も随時受付ておりますので、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。また、弁護士や行政書士等による無料相談会(要予約)も開催しています。詳細は問い合わせください。

令和6年度館内パネル展示実績

No.	テーマ	内容	掲示期間	内容
1	男女共同参画週間	DV、デートDV、性暴力、相談機関紹介	6/21～6/30	パネル、ポスター掲示、 チラシ、啓発グッズ配布
2	みんなで目指すSDGs×ジェンダー平等	SDGsとは何か、ジェンダー平等とは何かを わかりやすく解説	8/1～8/31	ポスター掲示
3	女性に対する暴力をなくす運動	相談機関紹介、暴力防止	11/11～11/25	パネル、ポスター掲示、 チラシ、啓発グッズ配布
4	北朝鮮人権侵害問題啓発週間	北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国 民の認識を深める	12/10～12/16	パネル、ポスター掲示

「なあ〜んと素敵なパートナーシップ」No.18

令和7年3月発行

益田市男女共同参画審議会を開催しました

益田市では男女共同参画社会の実現に向けて、8月6日に益田市男女共同参画審議会を開催し、第4次計画に基づいて実施した事業実績や事業計画について、多くのご意見をいただきました。いただいたご意見を踏まえ、当市の男女共同参画の取組を推進していきます。審議会の会議録は、人権センターの公式ウェブサイトに掲載してありますので、ぜひご覧ください。

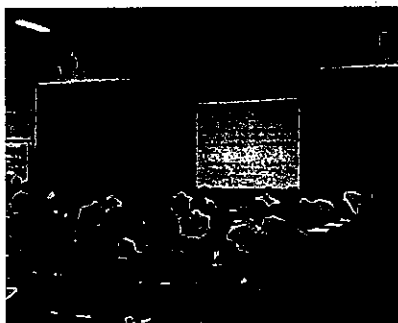
8月29日開催 企業（事業所）トップクラス人権・同和問題研修会

職場における人権 ～無意識のうちに誰かを傷つけていませんか～

島根県西部人権啓発推進センター 啓発指導講師 尾村幸行さん

石西地域人権を考える企業等連絡協議会の主催で、職場におけるアンコンシャスバイアス（人が無意識に持っている、偏見や思い込みのこと）の研修会が開催されました。

無意識の偏見や思い込み、例えば、「掃除や片付けは女が気付けてやるべき」、「男なんだから会社の雑務はしなくてよい」などの発言は、ときに相手を傷つけたり、排除したり、抑圧したりといった言動につながる可能性があり、相手を傷つけるつもりがないのに、知らないうちに結果として相手を傷つけてしまうことがある。そのことが職場の人間関係の悪化や、組織のパフォーマンスを低下させたり、不適切な人事評価につながるといった影響を与えます。職場において、決めつけたものの言い方、押し付けたものの言い方など自分自身のアンコンシャスバイアスに気付くことの大切さを学びました。



女性に対する暴力をなくす運動 (11月12日～25日)

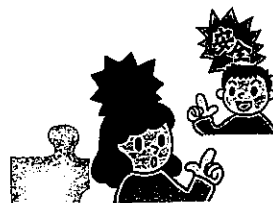
女性に対する暴力をなくす運動期間に益田児童相談所と共同でポスター掲示等を用いた暴力防止に関する意識啓発活動を行いました。

2月16日開催 令和6年度益田市男女共同参画推進事業 外国人のための防災講座

男女共同参画サポーターを中心に浜田河川国道事務所、松江地方気象台、市危機管理課、人権センターの共同で、外国人のための防災講座を開催しました。

男女共同参画の視点が防災に必要であることを避難所運営ゲーム HUG を使って体験することの説明をはじめ、益田市での災害の状況や河川が氾濫しそうなときにどういった避難行動をとればよいかなどのお話がありました。資料にひらがなのルビをふったり、やさしい日本語を使うなど外国人にわかりやすいように説明されました。

H(避難所)U(運営)G(ゲーム)は、災害時の避難所運営が模擬体験できるゲームです。みなさんの地域でも是非実施してみてください。



【発行】益田市人権センター Tel.0856-31-0412・fax 0856-31-0414

【ホームページ】<http://www.city.masuda.lg.jp>

【E-mail】jinken@city.masuda.lg.jp

益田市人権センター

消費生活相談受理件数

(単位：件)

販売購入形態

項 目	令和5年度	令和6年度
通信販売	38	53
不明・無関係	22	24
店舗購入	15	23
電話勧誘販売	12	15
訪問販売	3	8
訪問購入	0	1
その他無店舗販売	1	0
合 計	91	124

相談内容分類（重複内容あり）

項 目	令和5年度	令和6年度
契約・解約	54	84
販売方法	57	83
価格・料金	45	36
接客対応	16	27
品質・機能、役務品質	19	22
表示・広告	18	20
安全・衛生	4	9
その他	0	2
法規・基準	0	1
施設・設備	0	1

商品・役務別相談件数（上位KW集計）

項 目	令和5年度	令和6年度
商品一般	7	11
役務その他	2	11
融資サービス	8	10
化粧品	8	8
電話機・電話機用品	4	6
インターネット通信サービス	4	6
医薬品	4	5
健康食品	3	4
自動車	1	4
他の金融関連サービス	0	4
内職・副業	2	4